

次期入間市総合計画基本構想（原案）市民説明会 質疑応答一覧

1回目（令和7年12月6日開催）質疑応答

| No. | 発言要旨 | 応答 |
|-----|--|--|
| 1 | <p>今回の説明会は基本構想の説明であり、具体的な内容までは示されないことは承知している。しかし、市民としては、最終的にどのような具体策を講じていくのかという説明が必要であると考えている。</p> <p>基本構想の中で「安全と安心」という言葉が何度も出てきたが、これはまさに重要な視点であり、市民が常に安全・安心を感じながら生活できるまちにしていきたいと考えている。そのうえで、細かな点になるが、防災や防犯の取組の中で、人口減少に伴い空き家が今後増加していくのではないかと懸念しており、対策が必要であると思う。この点は基本構想には明示されていないが、是非検討していただきたい。</p> | <p>次期入間市総合計画・基本構想については、入間市総合計画審議会に諮った際にも、空き家の問題は、防災・防犯の面に加え、近隣住民の生活環境の保全という意味でも、非常に大きな課題であるとの指摘をいただいている。その中で、「この基本構想に限らず、基本計画や下位計画でもよいので、強制力のある対策を講じてほしい」との意見もいただいたところである。</p> <p>空き家対策については、細かな施策や事業を位置付ける基本計画の中で、具体的な対応策を検討していきたいと考えている。</p> |
| 2 | <p>団地の中でも空き家が増えていると感じている。先日、西武地区のある区長と話したところ、住民票は残っているものの、本人は既に施設に入所しており、実質的には空き部屋になっているケースがあるとのことであった。これは現に起きている事例であり、今後さらに増えていくのではないかと心配している。このような状況は、西武地区に限らず、市内他地域でも同様に発生していくものと考えている。</p> | <p>現状では、マンション等の集合住宅における空き室への具体的な対応は、十分にできていないと認識している。通常の戸建て住宅の空き家対策だけでなく、マンション等の空き室も課題である。災害発生時に、マンション内でどのような防災対策を講じていくかという点も含め、対応を検討していく必要があると感じている。この点については、庁内で情報共有を図りながら、今後検討を進めていきたい。</p> |

| | | |
|----------|--|---|
| <p>3</p> | <p>基本構想の内容自体に異論はないが、10年間のまちづくりの目標にある「誰もが豊かさを実感できるまち」という表現を、市民の目線で言い換えると、「不便を感じることなく日常生活を送れるかどうか」ということになるのではないかと思う。</p> <p>私の居住地は市の中心部から離れた新久であるが、交通の便が悪く、日常の買い物も不便になってきている。高齢になると、そうした不便さが積み重なり、生活に支障を感じるようになる。その結果、そうした地域から離れていく人も多くなっていくのではないかと考えている。こうした点に関する具体的な施策が進んでいくことを期待している。</p> | <p>日常生活の中で、直接的に不便さを感じる課題についての指摘であると受け止めている。</p> <p>一例として、入間市の取組を紹介する。宮寺・二本木地区にお住まいの方の主な買い物拠点であった「みずほモール」が閉店したことを受け、地域の皆様から数多くの意見・要望をいただいた。そこで、市としては、狭山台の区画整理地区の中で公園として活用を用意していた土地について、土地利用の調整を行い、公園に加えてスーパーマーケットも併せて整備できないか検討を進めており、現在、実現に向けて具体化しつつある状況である。</p> <p>従来は、「民間事業者が出店しなければ難しい」といった回答をせざるを得ない場面もあったが、こうした取組を通じて、一定の成果が見えつつある。同様の取組を市内全ての地区で展開できるとお約束することは難しいが、市としても、皆様が抱えている課題を十分認識しており、その解決に向けた方策について、今後も検討を進めていきたいと考えている。</p> |
| <p>4</p> | <p>基本構想の中で、「まちの拠点の形成」について伺いたい。「生活拠点の中心である地区センターを、多様な機能を有する地域のまちづくり推進拠点として活用していく」との説明があったが、この地区センターについて、具体的な施策やアイデアがあ</p> | <p>地区センターは、従来、支所や公民館としてそれぞれ整備されてきた施設を、より機能的に再編したもので、「支所機能」、「公民館機能」、「自治振興支援機能」、「防災拠点機能」、「福祉総合相談窓口機能」、「地域包括支援センター」の6つの機能を備えている。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>れば教えていただきたい。新たな機能の付加など、考えていることがあれば伺いたい。</p> | <p>整備から3年程経過したが、今後もコミュニティの拠点として積極的に活用していただきたいと考えている。</p> <p>また、人口減少が進む中で、地区センターを中心に、都市機能や周辺集落の機能を集約していく「コンパクトシティ」の考え方もある。市としては、地区センターを中心にまちづくりを進めていきたいと考えている。入間市には9つの地区があり、それぞれの地区で様々な取組が進められている。地区センターをコミュニティの拠点として、市民の皆様幅広く活用していただきたいと考えている。</p> |
| 5 | <p>空き家の管理については、都市計画課の職員ともよく意見交換をしているが、現行制度のもとでは「特定空き家」に指定することが難しい状況にあると聞いている。私の所属する自治会では、完全な空き家が2軒、半分空き家のような状態の住宅が2軒あり、そのうち1軒は敷地が「ジャングル」のような状態になっている。また、もう1軒は公道側にはみ出すほど木が伸びており、先日はそこにスズメバチの巣ができたため、都市計画課に相談し、所有者を探していただいて、巣の除去は対応してもらえた。しかし、樹木の状況は改善されず、近隣住民の大きな迷惑となっている。このような状況は、私の近隣だけでなく、入間市全体で問題となっているのではないかと</p> | <p>指摘の「経済的なペナルティ」という点については、罰金等の措置を想定されているものと理解している。このような措置を講じるためには、罰則を伴う条例を制定することが必要となる。その場合、議会での審議を経て、市民の皆様の理解を得ながら進めていくことが前提となり、ハードルの高い取組になると認識している。市役所としては、関係部局に今回の意見をしっかりと共有し、空き家対策の取組を一層推進できるよう、検討を進めていきたい。</p> |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>と考える。防災上の問題にとどまらず、生活環境の悪化という面でも非常に深刻である。都市計画課には、所有者への働きかけなどを継続して行っていただいているが、4～5年前から指導しても全く改善されないケースもある。そうした場合、もう少し強制力、特に経済的なペナルティのようなものが必要ではないかと考えている。総合計画の中で直接的に規定することは難しいと思うが、入間市の「安心・安全」や「住みやすさ」につながる重要な課題として、ぜひ検討していただきたい。</p> | |
|--|---|--|

2回目（令和7年12月11日開催）質疑応答

| No. | 発言要旨 | 応答 |
|-----|--|---|
| 1 | <p>人口減少や財政難といった状況の中で、現在計画している地区センターの新築・修繕工事が予定どおり実施できるのか伺いたい。具体的には、黒須地区センターの新築工事を令和9年度に予定しているが、計画どおり実施可能なのか。また、市内には老朽化した地区センターも複数あるが、それらの修繕工事について、どのような計画になっているのかお聞きしたい。</p> | <p>黒須地区センターについては、計画どおり令和9年度の新築に向けて準備を進めている。修繕については、昨年度、金子地区センターの大規模修繕を実施したところである。今後も、東藤沢地区センター、西武地区センターの改修を予定しており、地区センターとしての機能が十分に発揮されるよう、計画的に修繕を進めていきたいと考えている。</p> |
| 2 | <p>地区センター分館の取扱いについて伺いたい。現在、分館は4館あるが、令和10年度末で分館としての機能は廃止すると</p> | <p>令和5年度に、地区センター化を図り、それまでの13カ所の地区公民館、5カ所の支所、9カ所の地域包括支援センターの機能を、9カ</p> |

| | | |
|---|--|--|
| | <p>聞いている。分館はサークル活動等の場としても活用しているが、分館廃止後、これらの活動はどのように継続していくのか確認したい。説明の中で、「生涯学習」や「誰もが学び・成長し・活躍できる環境を整える」といった表現があったことから、この点について十分考慮していただきたいと考えている。</p> | <p>所の地区センターに集約した。現在は、分館4館を併存させる形で配置しているが、トータルコストを勘案し、将来的に4分館は廃止する方向としたものである。サークル活動については、令和5年度の地区センター化の時点から、活動場所の移行も含めた調整を行っている。</p> |
| 3 | <p>現在、すべての地区センター長が男性職員である。男女共同参画が重視される社会状況の中で、今後、女性職員を地区センター長へ登用する考えはあるのか伺いたい。</p> | <p>市では、男女を問わず、優秀な職員をしかるべきポストに登用し、まちづくりに取り組んでいる。地区センター長についても同様であり、現在は結果として全員が男性職員となっているが、今後、地区センター長に求められる能力・適性を有する職員に登用する際に、女性職員が地区センター長に就任することも当然あり得ると考えている。</p> |
| 4 | <p>これまでの10年間の第6次総合計画について、どのような総括を行っているのか伺いたい。</p> | <p>令和6年度に市民意識調査を実施し、中間総括を行っている。</p> |
| 5 | <p>総合計画は10年間の計画となっているが、変化の早い社会情勢に対し、この10年スパンで策定する計画が十分に対応可能であるか検討しているのか伺いたい。</p> | <p>今回の計画策定にあたって検討している。他自治体では、計画期間を8年間としているところや、10年間においても、前期4年、後期6年としているところもあり様々である。当市の検討においては、変化の速い社会情勢だからこそ、長期的視野を踏まえた行政運営が必要と考え、計画期間を10年間としている。なお、第1次から第5次までの総合計画では、策定後に基本構想自体の変更は行ってい</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | | ないが、第6次総合計画においては、時代の変化を踏まえ、後期基本計画の策定に合わせて、基本構想の変更を行った実績がある。 |
| 6 | 基本構想（原案）の8ページ「4 土地利用」に、「入間市駅周辺を商業・業務の中心として拠点を形成する」との記載があるが、今後の10年間において、実際にその必要性があるのか疑問を持っている。また、入間市駅周辺に、商業・業務の中心機能を置くとした場合、活用可能な土地はあるのか。 | これまで市では、入間市駅周辺を中心に、さまざまな事業に取り組んできた。商業・業務の中心という観点で活用可能な土地のことであるが、ジョンソン基地跡地留保地（入間市駅前側）があり、この土地の活用について、検討を進めているところである。また、入間市駅北口区画整理事業については、主として住宅地の整備を想定している。こうした取組も含め、入間市駅周辺一体がまちの中心となるよう、検討を進めていきたいと考えている。 |
| 7 | 資料1の18ページにある今後のスケジュールについて伺いたい。令和8年2月から9月までの具体的な予定・工程があれば教えてほしい。 | 具体的な日付等、決まったものはないが、2月から9月までは、基本計画の策定期間として位置づけている。 |
| 8 | 第6次総合計画においては、市民会議の設置、3回にわたるパブリックコメントの実施、いるま子ども会議など、市民参加の機会が設けられていた。今回の総合計画でも、同様の取組を実施していただきたい。次期総合計画策定に向けた意見聴取の方法としては、「タウンミーティング」が示されているが、これは市長選に向けて行ったものではないかという印象を持っている。自身はこれに参加したが、その場で総 | 市民の皆さまからの意見聴取については、いくつかの手法を検討している。一例を挙げると、「こどもまんなか社会」の実現の観点から、入間市内小学校の児童、入間市内中学校生徒からの意見聴取の実施を考えている。 タウンミーティングについては、「市長選に向けて開催したものではないか」との意見を頂戴したが、開催にあたり市長から冒頭で「市政全般について意見を伺う場である」と説明している。また、現行の総合計画のもと |

| | | |
|---|--|---|
| | <p>合計画に関する説明があったとは記憶していない。このため、「タウンミーティングにより市民の意見を取り入れた」と位置づけることが適切なのか疑問がある。今後、改めてタウンミーティングの機会を設けることも検討していただきたい。</p> | <p>で必要と考える取組について、現行計画の章ごとに付せんを貼る形で意見をいただくことも行っている。そこでは、市民の皆さまから多くの意見をいただいた。その一つ一つを拝見し、次期総合計画の検討にも活かしている。</p> |
| 9 | <p>パーパスと総合計画の関係性・位置づけについて説明いただきたい。</p> <p>パーパスで「未来の原風景」を創造し伝承する。」と掲げる一方で、地区センター分館の廃止は、サークル活動や文化活動の場を縮小することになり、これはパーパスと相反するのではないかと感じている。また、パーパスの策定過程には市民の意見が反映されておらず、そのようなパーパスを総合計画に関連付けることに疑問を持っている。</p> | <p>パーパスと総合計画の関係性については、次期入間市総合計画策定方針の中で、「「パーパス」を意識した計画である」ことを定めている。パーパスは、100年後の未来を生きる人たちからも、入間らしい素晴らしいまちだと感じてもらえるような、心豊かで幸せなまちをみんなで共に創っていこうという「かけ声」である。100年後の姿を考えるにあたって、その基盤となる10年間の総合計画を抜きにして考えることはできないことから、パーパスを意識した計画とすることとしている。具体的な位置づけとしては、資料2「次期入間市総合計画(原案)」の3ページ「10年間のまちづくりの目標」で掲げている「みんなでつくる だれもが豊かさを実感できるまち いるま」を、Well-beingの実現を目指すものと説明しており、パーパスの理念と整合するよう構成している。</p> <p>なお、パーパス策定に市民の意見が十分に反映されていないのではないかと、また、サークル活動等の文化の継承と分館廃止が相反するのではないかとという指摘については、意見</p> |

| | | |
|----|--|--|
| | | として承った。 |
| 10 | 令和7年10月10日に開催された第2回入間市総合計画審議会の議事録はいつ頃公開されるのか伺いたい。 | 第2回審議会の議事録については、委員の皆さまに内容確認をお願いしているところであり、近日中に公開する予定である。 |
| 11 | 資料1の10ページに、次期入間市総合計画策定にあたり「タウンミーティング」、「市民意識調査」、「こども・若者からの意見聴取」等での市民からの意見聴取を行う旨の記載がある。この中の「こども・若者からの意見聴取」について、具体的にどのような方法で実施するのか伺いたい。 | こどもからの意見聴取については、市内の小学校・中学校でタブレットを活用した学習を行っており、このタブレットの通信機能を活用し、アンケートの形で意見聴取を行うことを検討している。 若者からの意見聴取については、入間市総合計画審議会委員の中にも若い世代の方に参画いただき、意見を伺っている。また、パブリックコメントを通じて、若い世代の方からも積極的に意見を寄せていただきたいと考えている。 |
| 12 | 今後、働く世代の人口が減少していく一方で、産業団地の形成を進めようとしているが、その場合、技能実習等で来日する外国人労働者の増加が見込まれると思う。外国人人口の増加について、総合計画ではどのように捉えているのか。入間市として積極的に外国人を受け入れていく考えがあるのか。また、今後、入間市に居住したいと考える外国人が増えた場合、どのように対応していくのか伺いたい。 国際化の視点が、総合計画の中でももう少し明確に位置づけられてもよいのではないかと考えている。 | 外国人の積極的な受入れについては、現時点では特段検討していないのが実情であるが、入間市で生活する外国人の方が、「自分は外国出身である」と過度に意識せずに暮らすことができる、誰にとっても住みよい社会をつくるのが大切だと考えている。資料2「次期入間市総合計画（原案）」の12ページ「5計画の基本的視点」の「(1)人口減少、少子化・高齢化への対応」で、「多様性を認めあう」という視点を示しており、国籍・出生地・性別等の多様性をお互いに認め合うことを、基本的な考え方として位置づけている。また、13ページの「施策の大綱」においても、「誰 |

| | | |
|----|---|--|
| | | <p>もがお互いを尊重し合う社会」を掲げており、外国人に限らず、多様な背景を持つ方々が安心して暮らせるまちを目指している。</p> |
| 13 | <p>市民会館の周辺で、外国人を多く見かけますが、地域との交流がほとんど見られないように感じる。外国人と地域とのつながりづくりを総合計画の中にしっかりと盛り込むべきではないかと思う。</p> | <p>市の事業をきっかけに始まった日本語教室を、講師の方がボランティアで黒須地区や西武図書館分館などで継続して開催し、日本語だけでなく日本文化も教えながら、地域に溶け込もうとする外国人の方を支援していただいている。こうした取組を通じて、外国の方が入間市に住み続け、地域コミュニティの一員となっただけのことを目指している。</p> <p>具体的な施策については、今後策定する基本計画の中で検討していきたいと考えている。</p> |